

2015. 12. 25

---

プレスリリース

---

## 「内外の化繊工業の動向」

2015年 第3四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。  
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。  
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

## 概 要 (2015年第3四半期)

2015年7-9月のわが国の景気は企業業績が好調だったが、個人消費、輸出、設備投資ともに期待したほど盛り上がりせず、力強さを欠いた。

このような中、化繊景況は紙おむつなどの衛材用、フェイスマスク用などの生活資材用は堅調だったが、国内向け衣料、車両、土木資材用が低調に推移、化繊生産は25.3万トン・前年比0.7%の増となった。

### 国 内

- 1) 衣料用途は、国内向けが全般低調な一方、中東向け民族衣装用などのテキスタイル輸出が順調だった。ユニフォーム・ワーキング用は備蓄一巡で低調、パンストはインバウンドの爆買いが需要を下支えした。保温肌着用は厚地がトレンドとなりアクリルSの出荷量が増加した。ブラックフォーマルは主力の百貨店向けが低調だった。インテリア用途は、住宅着工件数の回復でカーテン・カーペット用が上向いた。衛材・生活資材用途は、紙おむつやフェイスマスクなどが製品輸出の増加やインバウンド需要で好調に推移した。産業資材用途は、エアバッグ用が減速、タイヤコード用も織物および強力糸の高水準の輸入が続き、ポリエステル製では海外調達品が殆どを占めた。カーシート用は自動車生産の前年比減が続いたことや合成皮革へのシフトもあり苦戦した。土木資材は公共工事の一巡で低調だった。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体で前年比（以下同じ）0.9%減、化繊0.6%減、紡績5.8%減。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が3.4%増、化繊4.5%増、紡績18.5%減。（2010年=100、生産、在庫とも指数ベースでの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで20.2億ドル・前年比（以下同じ）9.2%減、一方円ベースでは2,468.8億円・7.0%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料4.2億ドル・3.1%減、糸類2.7億ドル・15.0%減、織物類6.0億ドル・7.6%減、二次製品他7.4億ドル・11.5%減。仕向地別（ドルベース）では、全体の30.8%を占めた中国が15.3%減の6.2億ドル、香港（13.5%減）、韓国（7.8%減）、台湾（17.5%減）、アセアン地域はベトナム（0.2%減）、タイ（13.3%減）、インドネシア（22.3%減）・マレーシア（31.5%減）となり、それ以外では西アジア（8.9%増）、欧州（3.2%減）、米州（0.2%増）であった。
- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで105.8億ドル・前年比（以下同じ）7.4%減、一方円ベースでは1兆2,921.4億円・8.5%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料1.5億ドル・3.7%減、糸類3.1億ドル・12.6%減、織物3.3億ドル・10.6%減、二次製品他97.9億ドル・7.2%減。仕出地別（ドルベース）では、全体の64.8%を占めた中国が10.7%減の68.6億ドル、台湾（10.8%減）、韓国（19.0%減）、アセアン地域は、ベトナム（10.0%増）、インドネシア（1.8%増）、タイ（6.1%減）、マレーシア（2.8%増）、それ以外では、

イタリア（14.2%減）、米国（14.6%減）となった。

### 繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2013.7-9	2014.7-9	2015.7-9	2014年比(%)	2013年比(%)
輸出	千ドル	2,189,025	2,223,379	2,019,170	-9.2	-7.8
計	百万円	216,574	230,805	246,878	7.0	14.0
繊維原料	千ドル	413,813	432,988	419,520	-3.1	1.4
糸類	〃	302,100	312,039	265,385	-15.0	-12.2
織物類	〃	661,221	646,491	597,652	-7.6	-9.6
二次製品他	〃	811,892	831,862	736,613	-11.5	-9.3
輸入	千ドル	12,200,650	11,433,707	10,583,898	-7.4	-13.3
計	百万円	1,206,705	1,190,855	1,292,141	8.5	7.1
繊維原料	千ドル	160,494	154,665	148,868	-3.7	-7.2
糸類	〃	341,640	355,854	310,872	-12.6	-9.0
織物類	〃	378,113	369,535	330,202	-10.6	-12.7
二次製品他	〃	11,320,403	10,553,653	9,793,956	-7.2	-13.5
(うち衣類)	〃	(9,779,250)	(9,049,818)	(8,379,763)	-7.4	-14.3
輸出レート	円/ドル	98.9	103.8	122.3	17.8	23.6
輸入レート	円/ドル	98.9	104.2	122.1	17.2	23.4

(出所) 財務省

5) 化繊生産は25万2,655トン・前年比(以下同じ)0.7%増、うちセルロース繊維4万4,257トン・9.0%増、合繊20万8,398トン・0.9%減となった。期末(9月末)在庫は9万8,751トン・2.1%増、うちセルロース繊維1万5,751トン・6.1%減、合繊8万3,000トン・3.9%増であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は16.5万トン・前年比(以下同じ)0.3%増。うち、繊維原料8.7万トン・4.6%増、糸類2.9万トン・5.6%減、織物類(面積ベース)1.47億㎡・2.3%増、二次製品2.5万トン・6.4%減となった。品種別では、レーヨンS70.6%増、ナイロンF11.5%減、ポリエステルF9.8%減、ポリエステルS20.9%減、アクリルS8.0%増、織物類(面積ベース)はナイロンF織物1.7%減、ポリエステルF織物1.7%増、ポリエステルS織物4.7%増であった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は42.5万トン・前年比0.5%減。うち、繊維原料1.8万トン・10.4%増、糸類5.6万トン・3.9%減、織物類(面積ベース)は1.51億㎡・3.7%減、二次製品32.0万トン・0.1%減、うち衣類17.6万トン・1.8%減となった。品種別では、レーヨンS4.1%増、ナイロンFは3.9%増、ポリエステルF5.9%減、ポリエステルS23.2%増、ポリエステル紡績糸0.7%減、織物類(面積ベース)はポリエステルF織物4.4%減、ポリエステルS織物0.3%増であった。

## 化学繊維の主要指標

項 目	単 位	2013. 7-9	2014. 7-9	2015. 7-9	2014年比 (%)	2013年比 (%)
化繊生産	千トン	250.8	251.0	252.7	0.7	0.7
セルロース	〃	43.4	40.6	44.3	9.0	2.1
合 織	〃	207.5	210.4	208.4	-0.9	0.4
化繊在庫	〃	91.6	96.7	98.8	2.1	7.8
セルロース	〃	16.8	16.8	15.8	-6.1	-6.5
合 織	〃	74.7	79.9	83.0	3.9	11.1
化繊輸出	千トン	159.4	164.5	164.9	0.3	3.5
	100万ドル	1,386.0	1,413.5	1,290.1	-8.7	-6.9
	億円	1,371.3	1,467.7	1,577.1	7.4	15.0
繊維原料	千トン	81.8	83.0	86.8	4.6	6.2
糸 類	〃	29.2	30.8	29.0	-5.6	-0.4
織物類	百万㎡	144.2	144.1	147.4	2.3	2.2
二次製品	千トン	25.1	26.6	24.9	-6.4	-0.8
化繊輸入	千トン	411.5	426.7	424.5	-0.5	3.1
	100万ドル	5,905.1	5,669.9	5,305.8	-6.4	-10.1
	億円	5,839.8	5,913.3	6,472.7	9.5	10.8
繊維原料	千トン	14.7	16.1	17.8	10.4	20.8
糸 類	〃	51.5	58.3	56.0	-3.9	8.8
織物類	百万㎡	139.4	156.9	151.1	-3.7	8.4
二次製品他 (うち衣 類)	千トン 〃	316.8 (181.6)	319.8 (178.9)	319.5 (175.7)	-0.1 -1.8	0.9 -3.3

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合繊品種の動向は次の通り。

### <ポリエステルF>

2015年第3四半期のポリエステルフィラメントの生産は3万1,717トン・前年同期比6.7%の減、9月末在庫は1万2,565トン・前年同月比4.5%の増。

衣料用：国内向けは婦人服用など全般盛り上がり欠けた。ブラックフォーマルは百貨店・専門店向けが低調だった。中東向け民族衣装「アバヤ」などのテキスタイル輸出が順調に推移した。遊泳用水着は8月の猛暑で店頭販売が盛り返し、来シーズンが期待できそう。高価格帯品が多い「ヨガ」向けのニットは国内・輸出ともに堅調。学校体育用は需要が安定し、機能・エコ素材の比率がアップした。

非衣料：タイヤコード用は織物および強力糸の輸入が高水準で推移し、ポリエステルの繊維消費量の殆どが海外品になった。カーシート用は自動車生産台数の前年比減が続いたことや合成皮革の浸食で苦戦。シートベルト用も同様に低調で、関与輸入糸使用の比率が上昇。カーテンはコントラクト向け需要が上向き、ホームユース向けも住宅着工戸数の回復で動きが出てきた。土木関係は公共投資一巡で不振だが、建築関係は比較的順調であった。

フィラメント輸出は 3,943 トン・前年同期比 9.8%減、フィラメント輸入は 3万 1,626 トン・5.9%減。

#### <ポリエステルS>

2015年第3四半期のポリエステルステーブルの生産は 3万 4,938 トン・前年同期比 8.1%の減、9月末在庫は 2万 3,373 トン・前年同月比 8.9%の増。

紡績用：ユニフォーム・ワーキング向けは備蓄が完了して減速。帆布向けは 2014年の大雪に続き 15年も鬼怒川の水害などの影響で備蓄用の荷動きがあった。

製綿用：合繊メーカーの一角が生産を縮小した部分は主に韓国からの輸入品に置き換わった模様で、国内合繊メーカーのステーブルの出荷は低位で推移した。

不織布用：衛材向けは高価格帯の中国向け紙おむつ・生理用品の製品輸出が急増する中、ステーブルの出荷は堅調に推移した。生活資材向けは各種ワイパー、フェイスマスク、雑貨類へのステーブル出荷増が続き、不織布原反輸入も大幅に増加した。車両用は自動車の国内生産の減少が響き環境が厳しい。湿式不織布は中国での家庭用浄水器の需要拡大や大型淡水化プラント向けのリプレイス需要が活発化して好調だった。

ステーブル輸出は 5,588 トン・前年同期比 20.9%減、ステーブル輸入は 9,956 トン・23.2%増。

#### <ナイロンF>

2015年第3四半期のナイロンフィラメントの生産は 2万 3,889 トン・前年同期比 5.8%の減、9月末在庫は 1万 2,219 トン・前年同月比 23.6%の増。

衣料用：パンストはインバウンドの「爆買い」が需要を下支えし、プレーンタイプが堅調。ハイテンションニットは低調な国内向けに加え、中国向け輸出も落ち込んだ。輸出比率が高いウインター・アウトドアなどの高密度織物は米国向けが好調だったが、欧州および韓国向けが低調だった。

非衣料用：タイヤコードはラジアルタイヤ向けキャッププライ用が健闘したが、オフロード車向けのバイアスタイヤ用は低調。ナイロンタイヤコード織物の輸入は落ち着いたが、強力糸の大幅な輸入増が続いた。エアバッグ用は中国、アセアン、日本の自動車生産が停滞した影響でタイ、フィリピン、中国、ベトナム向けの原糸輸出が減速した。タイルカーペットはオフィスビルなどの大型案件が活発化して堅調、一方車両用カーペットは自動車生産の前年比減が続き低調であった。

フィラメント輸出は 9,642 トン・前年同期比 11.5%減、フィラメント輸入は 8,751 トン・3.9%増。

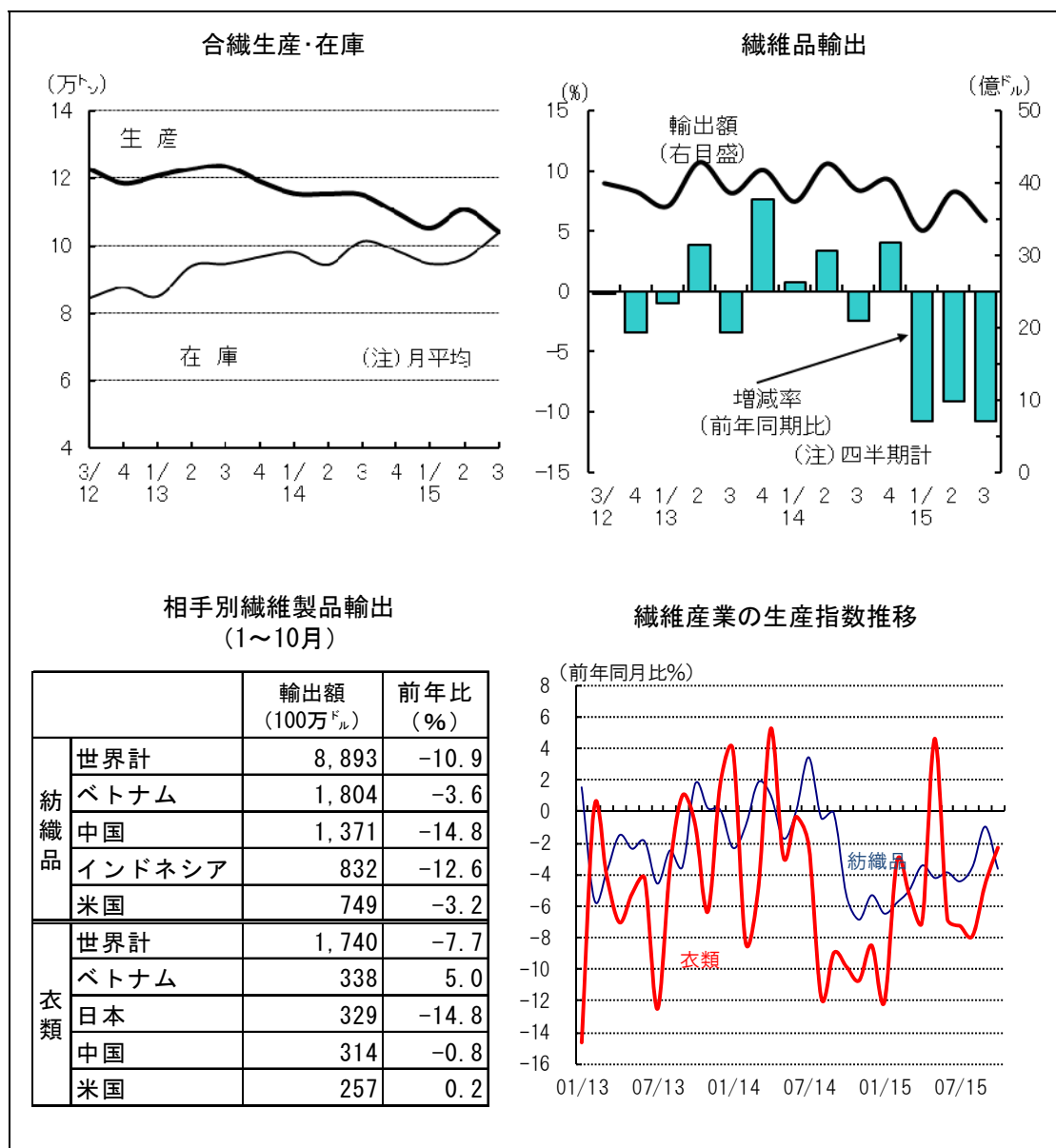
#### <アクリルS>

2015年第3四半期のアクリルステーブルの生産は 3万 9,529 トン・前年同期比 0.9%の増、9月末の在庫は 1万 719 トン・前年同月比 12.5%の減。

衣料用：保温肌着用の 2015年シーズン向けステーブルの出荷は、アクリルの混率アップや発熱・保温機能を付与したジーンズなどが登場したため好調だった。大手SPAの独り勝ちの様相が強く、GMS（大型スーパー）向けは不振が続いた。靴下

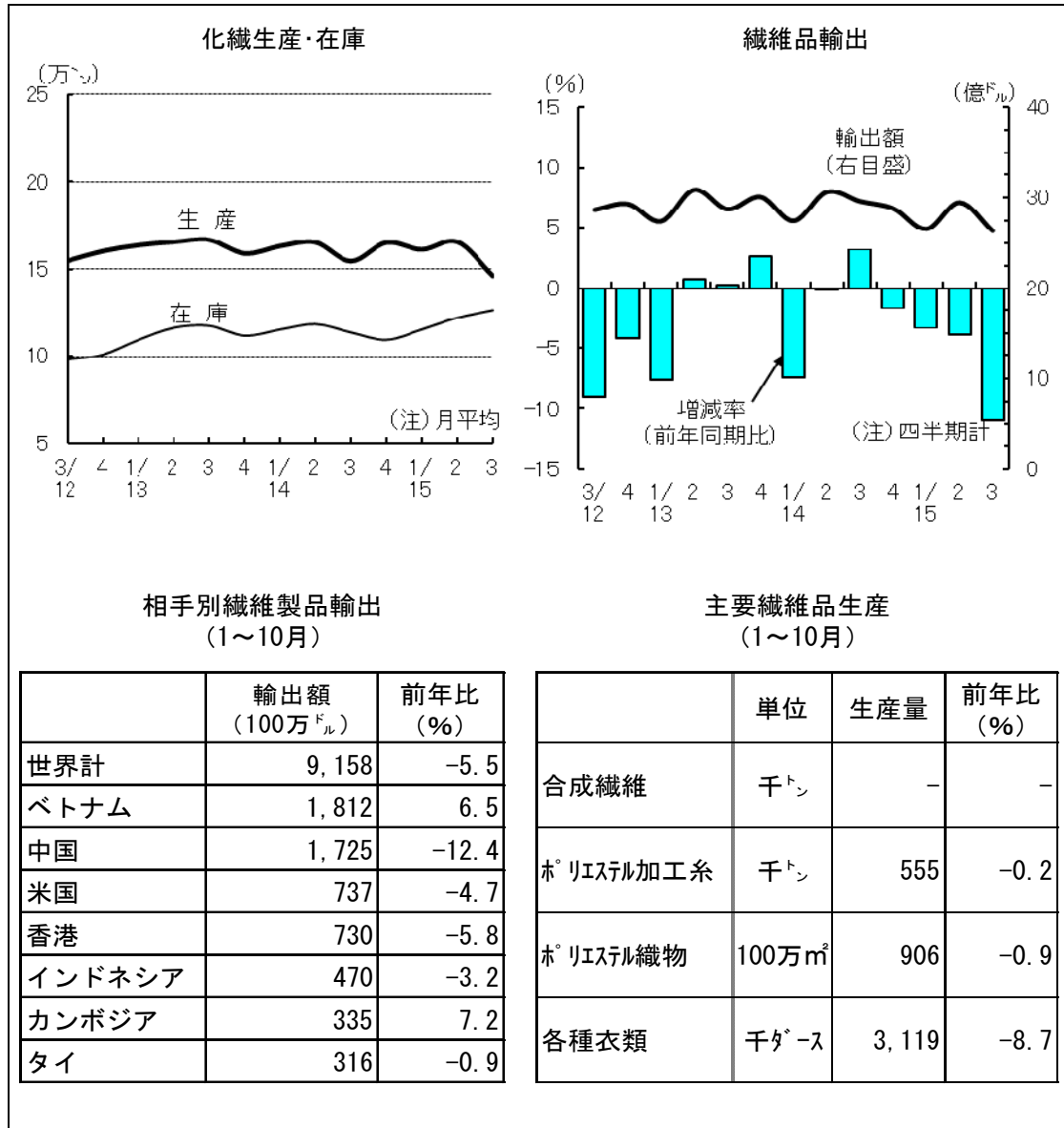
は素材からの差別化を重視する大手SPA向けに安定した出荷が続いた。  
建寝装用：毛布向けの出荷は近年激減したが、「ジャパंकオリティ」を強調した純国産品への取組みが重要となった。  
ステーブル輸出：中国向けは2万1,434トシ・前年同期比5.5%増、日本国内へ持ち帰りの保温肌着用が健闘した。一方、スタートした中国内需向けは同国内の過剰在庫が解消されないことに加え、アクリロニトリル価格の先安観からユーザーの買い控えが響き低調だった。インドネシアは2,138トシ・14.5%減と紡績糸の加工基地として期待しているが漸減傾向が続いた。

1. 韓国



- ◆ 化繊生産は続落、繊維品輸出は大幅減となり、繊維業況は全般的に低調であった。
- ◆ 第3四半期の合繊生産は前年同期比 9.5%減の 31.2 万ト、7 期連続で前年実績割れとなった。主要合繊 4 品種はいずれも前年実績割れとなった。
- ◆ 第3四半期の繊維品輸出は 10.8%減の 34.8 億ドルとなった。1~10 月の繊維製品輸出を相手別にみると、紡織品は中国、インドネシア島の主力市場が 2 桁減となった。衣類は、日本、中国は減少したが、ベトナム向けは続伸した。第3四半期の繊維品輸入は 6.1%減の 41.7 億ドル、韓国の繊維品貿易バランスは入超幅が拡大した。
- ◆ 直近 (2015 年 10 月) の繊維品の生産指数をみると、紡織産業は 3.6%減、衣類産業は 2.3%減、ともに 2014 年年央以降、前年実績を下回っている。

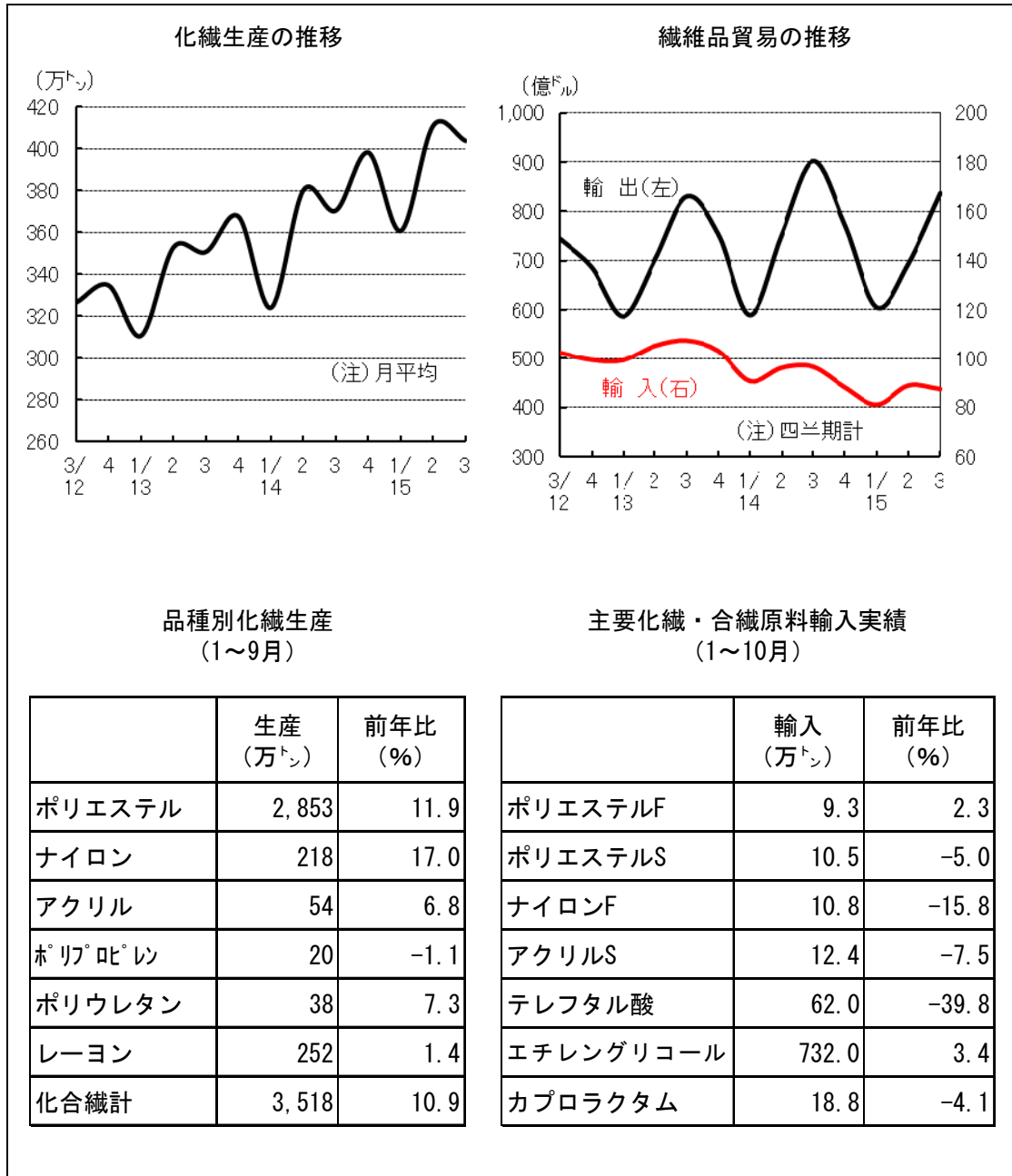
## 2. 台 湾



- ◆ 化繊生産、繊維品輸出は減少が続いている。
- ◆ 第3四半期の化繊生産は前年同期比 5.4%減の 43.9 万トンとなった。一方で、在庫率は上昇傾向で推移している。主要合繊 4 品種は、微増のポリエステル F を除き、前年実績割れとなった。
- ◆ 第3四半期の繊維品輸出は前年同期比 11.0%減の 26.3 億ドルとなった。1～10月の繊維品輸出を相手別にみると、ベトナム向けが 6.5%増の一方、中国が 12.4%減となり、ベトナムが最大の仕向国となった。繊維品輸入は、同 2.4%減の 9.0 億ドルとなった。
- ◆ 1～10月の主要繊維品の生産は、ポリエステル加工糸は 0.2%減、ポリエステル織物は 0.9%減、衣類は 8.7%減といずれも減少となった。



### 3. 中 国



- ◆ 化繊生産は引き続き 2 桁増となったが、繊維品輸出は減少が続いている。
- ◆ 第 3 四半期の化繊生産は前年同期比 9.0%増の 1,211 万トとなった。1~9 月の化繊生産を品種別にみると、主力のポリエステルは同 11.9%増の 2,853 万トとなった。なお、同期間の紡績糸生産、織物生産は 4.7%増、3.3%増と大幅に鈍化している。
- ◆ 第 3 四半期の繊維品輸出は前年同期比 7.2%減の 837 億ドルとなった。一方、輸入は 9.5%減の 87 億ドルとなった。
- ◆ 1~10 月の合繊原料輸入は、テレフタル酸、カプロラクタムが国内生産の増加もあって

それぞれ前年同期比 39.8%減、4.1%減の大幅減となった。エチレングリコールは 3.4%増となった。

相手別繊維製品輸出 (1～10月)			繊維業界の主要指標 (1～10月)			
	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)		単位	指標	前年比 (%)
世界計	2,350	-5.4	企業数	万社	3.8	-
アジア計	1,018	-6.3	赤字企業数	万社	0.5	6.6
日本	181	-12.1	主要業務収入	億円	54,395	1.8
香港	111	-18.6	うち化繊産業	億円	5,939	0.7
アセアン	286	-1.6	利潤総額	億円	2,849	8.0
ベトナム	115	-7.6	うち化繊産業	億円	235	30.5
EU	440	-10.7	繊維産業実際投資	億円	9,549	15.5
米国	403	7.1	うち化繊産業	億円	919	-0.8

社会小売財消費総額 (1～10月)				繊維関連物消費者物価指数 (1～10月)	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同期比 (%)
商品売上総額	億円	244,359	10.6	消費者価格指数・全製品	101.4
うち繊維品等	億円	10,596	10.2	消費者価格指数・衣類等	102.9

- ◆1～10月の相手別の繊維製品輸出は、全体で 5.4%減、アジア向けは 6.3%減となり、日本向け、香港向けは 2 桁減となった。最大の仕向地である EU 向けは 10.7%減と 2 桁減が続く一方で、米国向けは 7.1%増と堅調が続いている。
- ◆1～10月の繊維産業の主要指標は、主要業務収入は 1.8%増に大幅に鈍化した。利潤総額は 8.0%増と引続き堅調であった。繊維産業の投資は 15.5%増と 2 桁の伸びが続いている。
- ◆衣料用内需は引続き堅調に推移した。1～10月の繊維品に関する社会小売消費総額は前年同期比 10.5%増となった。衣類等の消費者物価指数は前年同期比 2.9%上昇した。

## 合織4品種需要実績(2015年7～9月)

※国内需要の対前年同期比欄について、2015年1～3月から衣料・非衣料比率の見直しにより空欄とします。

### I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2015年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	23,446	102.5	
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	37,860	98.1	
	計	61,306 (31,627)	99.7 (100.2)	93.6 (94.1)
輸出 (原糸、加工糸)		1,837	111.3	93.2
需要計		63,143	100.0	93.6
在庫		12,565	102.8	104.5

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2015年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	4,361	90.9	
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	33,584	103.6	
	計 (輸入)	37,944 (9,957)	107.0 (121.5)	99.5 (123.2)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		3,159	104.3	80.1
需要計		41,103	106.8	97.7
在庫		23,373	111.2	108.9

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2015年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	6,035	115.0	
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	18,151	102.7	
	計	24,186 (8,752)	105.5 (105.9)	95.9 (103.9)
輸出 (原糸、加工糸)		7,388	102.9	97.8
需要計		31,574	104.9	96.4
在庫		12,219	108.7	123.6

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2015年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	6,870	107.9	
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	1,568	97.9	
	計	8,438 (183)	105.9 (100.0)	158.4 (126.2)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		31,104	97.0	97.3
需要計		39,542	98.8	106.1
在庫		10,719	99.8	87.5

(注)国内需要の( )内数値は輸入量